

科目名	ゼミ I		Subject	Seminar I				
サブタイトル	社会人基礎力の育成							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	通年	必修						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間		◎	○	○		○
ゲストスピーカー招聘回		第 9 回、第 10 回						
教員名	阿部・内野・山本・過足・中根・石川			メールアドレス	ayako.ishikawa@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	×							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
通年の中で実施日は年度初めにclassroomにてお知らせします。「美しく生きるために必要な能力を有し、美容を通じ広く国際社会に貢献しうる人材」になるために、「美しい生き方」とはどのようなことなのかを考えます。自己と対峙し、学びから導かれるものを他者と共有することで、自らの「気づき」と、他者から得る「気づき」を集約します。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	あり	あり	-			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP2	学生生活や学事イベントの中で、役割を考え行動できる							
DP3	学習からディプロマポリシーに沿った「気づき」を考えることができる							
DP4	チームビルディングや学事イベントを通じて、ディプロマポリシーに沿った協働ができる							
DP6	ディプロマポリシー1～5を複合的に捉え、利他的な考えができる							
教科書・教材								
教科書	学修成果カルテの資料，教員作成資料							
参考文献	必要に応じて提示します							
各自準備教材	スマートフォン及びPC 又はタブレット							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	20%	-		20%	-	50%	10%
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。学習成果カルテに対して、個別にコメントを返します。								
履修上の条件・注意								
通年を通して15回の授業を実施します。前期と後期の面談日に関しては、該当日を別途お知らせします。私語、居眠り、飲食、私的な携帯電話の使用、授業の妨げ等マナーに反する行為は退出を命ずることがあります。自分の意見や他者への質問を積極的に出して授業参加することを望みます。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合があります。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第1回	オリエンテーション シラバスを知る、履修登録確認（4月2週目）	他者（ゼミ生）とのコミュニケーションをとり、相互理解の機会創出ができる。	ゼミの仲間の顔と名前を覚える。 履修する科目のシラバスを読み込む。 目標と気づきを毎授業の課題とする 課外活動に参加をする。（通年）	60分
第2回	DP・学修成果カルテとは何かを知り、理解を深める 夢作文を書く（4月3週目）	本学へ入学した目的から夢作文として目標を述べるができる。夢実現のために関連の深いDPを挙げることができる。	DP1～6、DP 評価表の内容を読み、目標を記録する、履修科目毎に修得目標をイメージする。	60分
第3回	チームビルディングの計画・準備（4月4週目）	ゼミ生の得意なことを共有し、チームビルディングでの役割を予測することができる。	チームビルディングの目的を考える。	60分
第4回	チームビルディングの実践（5月1or2週目）	他者の考えを受容し、チームで協働することができる。	チームビルディングでの気づきを記録する。	60分
第5回	チームビルディングの振り返り DPの修得状況を確認 学修成果カルテを用い、自己の成長を振り返る（第1回）（5月2or3週目）	チームビルディングを振り返り、役割とDPの習得を述べるができる。履修科目で得た「気づき」を学修成果カルテにデータ入力し提出する。次の目標を立案できる。	チームビルディングでの課題を明確にし、今後の協働するイベントに向けて解決に導ける準備をする。自分の現状の再確認を行い、今後の具体的行動を考える。	60分
第6回	ビブリオバトルの実施（1年合同ゼミ）（5月か6月初旬）	図書館の本から得られた気づきを共有し、他者の価値観から共感や気づきが得られたものを選択することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を考え、学修成果カルテに記載する。	60分
第7回	個人面談（出席状況や課題提出状況の確認）（6月3週分、学生はうち1週）	スケジュールに対応した改善、確認ができる。	学苑祭の課題を明確にし、解決に導ける準備をする。 前期の振り返りを行い、自己評価・他者評価を纏め、次週のゼミ内での発表に備える。	60分
第8回	インターンシップに向けての説明会（1年合同ゼミ）6月末	インターンシップの目的（業界、企業への理解を深める、視野を広げる、自分の適性を知る、等）を理解し、自身にとって最適な企業を選択できる。	インターンシップに参加したい企業を複数選定し、各社の研究を行う。	60分
第9回	AIとは何か 基本概念を学ぶ（7月）	AIの基本概念・仕組みを理解する	基本概念の仕組みをまとめてくる。 AIの活用事例を調べてくる。	60分
第10回	AIの活用事例と課題 倫理・リスク・将来展望（7月）	AIの利点・限界・論理的課題を理解する	AIのリスク、将来の展望についてレポートを作成してくる。	60分
第11回	前期の振り返り・夏休みの振り返り 後期履修科目のシラバスを理解し、履修を考える（9月後期始まったとき）	履修科目のシラバスを具体的に把握することができ、後期の授業の展開を予測することができる。	各履修科目のシラバスの理解度を深める。 予習として履修科目毎に修得目標をイメージする。	60分
第12回	個人面談（DPへの「気づき」と出席状況や課題提出状況を共有）（11月） 企業研究（曼荼羅チャート）	「気づき」をゼミで共有し、他者の価値観を受容できる。その「気づき」を、学修成果カルテを提出することで、行動目標を立案することができる。 企業を研究することで将来像を述べるができる。	今後の具体的行動を考える。 自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録し、を考え、学修成果カルテに記載。 企業研究像をイメージする。	60分
第13回	作品制作（11月）	作品制作を通して、美容に必要な力（発想力）を養い、自分の考えを表現することができる。	テーマに関するイメージや資料を収集し、発表に向け表現を考える。 発表できる制作物を第14回までに完成させる。	60分
第14回	学修成果カルテの提出を行う（第2回）（12月）	後期・1年間の振り返り、DPで修得できた項目、修得するために努力してきた内容を振り返り、自己評価・他者評価することができる。	自己の「気づき」、他者からの「気づき」を記録する。	60分
第15回	作品発表を受け、自己肯定・他者理解を行う（1年生合同ゼミ）（12月最終）	制作物発表を受け、自他の学びを振り返り、自己肯定・他者受容することができる。	提出内容の再確認を行い、2年生に向けての具体的行動や目標を考える。	60分